

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2011年 2月号 (第36号)

発行責任者 加曾利 厚雄



ところざわ倶楽部の将来事業計画検討会議を開催!

(細部は別添資料をご覧ください。)

下記により、標記の会議を開催します。会員各位は、奮ってご参加下さい。

記

1 趣旨

ところざわ倶楽部は何を為すべきか、どんな企画を行えばよいのかなどについて、考え方や理念をまとめ、これらに基づいた将来(2~3年先)の事業計画のストックを作ることを目的に会議を行うものです。

2 日時: 2月16日(水) 13:15 ~16:00

3 場所: ところ荘(神明社脇)

4 参加者: 理事&編集委員及び会員有志

5 議題: 倶楽部の理念・活動等のあり方

- ① 事業の計画・運営のあり方
- ② 学習成果を地域に生かす活動とは
- ③ 会員相互の親睦と情報交換のあり方
- ④ 生涯学習センターや講師等とのネットワーク作り
- ⑤ 具体的事業・活動内容
- ⑥ その他

【3月度事業予告】

講演と討論会

- 1 テーマ: 「郊外都市所沢は生き残れるか」
- 2 日時: 3月12日(土) 15時15分~17時45分
(14時45分受付開始)
- 3 場所: 新所沢東公民館
- 4 構成
 - 【第1部】 15時15分~16時
講演: 法政大学教授 廣瀬克哉先生
 - 【第2部】 16時15分~17時15分
参加者によるディスカッション
 - 【まとめと講評】 17時15分~17時45分

テーマから、内容については想像がつくと思いますが、参加者によるディスカッションをどのように進めるかなど決まっていない部分がありますので、決定次第チラシを作成し、改めてお知らせします。

新春事業「サークル説明会・公開講演会」開催！

1月17日(月)、小手指公民館・分館において、東京経済大学教授 羅 歆鎮先生による「どうなる日中関係」と題した公開講演会が、ところざわ倶楽部主催により開催された。演題が時宜にかなったテーマであったため、聴衆は約150名(会員90名、一般60名)と盛会であった。また、これに先立ち、倶楽部を構成しているサークルの概要についての説明が行われた。以下その概要について報告する。(渡邊事業部長 記)

サークル説明会

まず最初に、17期修了者が新規に立ち上げた「音楽連・市民大学派」について、当該サークル代表代理の宮内氏から非常に熱のこもった面白いサークル紹介と勧誘が行われ、その後、事業部長から、市民大学修



了者で未だ倶楽部に加入していない人全体を対象として、既存のサークルについて直近の活動状況などを加え紹介と勧誘が行われた。

なお、「音楽連・市民大学派」については、本紙4面「新サークル紹介」を参照されたい。

公開講演「どうなる日中関係」

羅先生は、最近の日中関係から説き起こし、国際社会の構造変化を、中国の経済大国化による台頭が米国の相対的衰退を招いているとする「中国の台頭」と「アメリカの衰退」という切り口でとらえ、既にGDPで日本を抜き世界第2位となり、今後10年で世界第1位になると予測されるような経済大国となった中国の影響について、具体的数値を示しながら説明された。

一方、このような経済発展に伴う一方的貿易規制など傲慢な態度が国際社会で引き起こす様々な摩擦や、人権問題、環境問題、民族問題などの国内問題に関する中国への批判にも言及された。次いで、昨秋尖閣諸

島沖で起きた巡視船への中国漁船追突事件について触れ、この事件の結果、日本でも中国脅威論が高まり、この問題の得失については、中国は国際社会での中国脅威論の定着という大きな失点を蒙った反面、日本の損得は相半ばであった、と分析された。

先生は、日本に対して中国をもっと理解して、成長する中国と平常心で対応し、米中の懸け橋になってほしい、一方中国に対しては、経済規模が日本を上回っても個人所得ではまだ日本の十分の一でしかなく、依然途上国であることを認識し、謙虚に日本から学び、鄧小平の遺訓を守り、各国と協力して発展していくべきだと結ばれた。



講演で紹介！羅先生推薦図書

杉浦起央『増補版 尖閣諸島・琉球・中国：日中国際関係史』三和書籍2005年
村田忠禧『尖閣列島・釣魚島問題をどうみるか』日本橋報社2004年
宮本雄二『これから中国とどう付き合うか』日本経済新聞社2011年
孫崎亨『日米同盟の正体』講談社現代新書1985年

「講演を聞いて」

沈 櫻 (シェン イン)さん (中国上海市出身 所沢市在住)

尖閣諸島事件以来、「日中関係」は非常に敏感になっている。羅先生が一人の中国人として、このタイミングで「どうなる日中関係」というテーマを取り上げたことは、相当な自信と勇気があると思う。

みんなは自分の祖国を愛していることは当然だが、羅先生は今回中立な立場に立ち、客観的に日中関係を論述、分析されたことは本当に有難いことだと思う。

国によって文化と価値観が違うのは当然である。同じ国でも地方、年齢、成長の環境によって価値観も違

うのではないだろうか。また日本にしても中国にしても毎日国内の新聞やマスコミに取り囲まれて、受け取った情報が限られていることによって、お互い誤解が生じることは免れない。

私は、日中両国民がお互いに常に寛容心を持って、積極的に異文化を理解し、コミュニケーションをとることで、一日も早く心の中の凝り(しこり)が解けることを願っている。

奉仕！遊ぶ！学ぶ！ サークル活動レポート

倶楽部会員大活躍！

三富地区の冬の風物詩“クズ(落ち葉)掃き”

所沢をはじめとした三富地区から川越にかけての里山(くぬぎ山)で行われる、堆肥用落ち葉集め・“クズ掃き”は、江戸時代から冬の農作業として1月を中心に実施されてきました。今年も正月明けから始まりましたが、例年になく盛り上がっています。

それというのも、里山保全の重要性などについて生物多様性条約第10回締約国会議(COP-10)でも注目され、マスコミにたびたび取り上げられたこともあり、また、県の川越農林振興センターや市の農政課も力を入れ始め、里山の保全と循環型農業に賛同する団体の連携組織である「三富アライアンス」の活動が活発化してきたからです。

なお、「三富アライアンス」については、ところざわ倶楽部ホームページの「所沢の自然と農業」のページに概要が掲載されていますので参照して下さい。

この活動に関しては、ところざわ倶楽部も「所沢の自然と農業」サークルを窓口として、「地域の自然」、「地域の自然を考える会」、「地球環境に学ぶ」などのサークルを中心に、積極的に参加しています。

今年の倶楽部会員が関与した落ち葉掃きは、
 ・先ず1月7日に柳瀬公民館裏山で行われた市農政課主催の「体験落ち葉掃き」への支援を皮切りに、
 ・10日には下富で行われた他団体の落ち葉掃きを農家のサポーターとして支援。

- ・15日には、「地域の自然」サークルが早稲田大学再生実験林の落ち葉掃きを主催し、
- ・22日には、下富の農家で「所沢の自然と農業」サークルが屋敷林の落ち葉掃きを主催。
- ・29日には、今年の落ち葉掃きの締め括りとして、下富の横山農園で、所沢市内外から約280人の参加者を得て、「三富アライアンス」主催の落ち葉掃きが大々的に行われました(細部は倶楽部ニュース参照)。

この催しには埼玉県の高橋副知事が視察に訪れるとともに、マスコミによる取材・報道も行われました。この“三富・千人落ち葉掃き大会”は、里山保全と循環型農業の大切さを地域全体でアピールするために、この期間に合計約1000人の動員を目標とし、昨年11月から計画が進められてきたものです。横山農園の平地林約5ヘクタールを主会場としたこの日の催しには、「所沢の自然と農業」サークルのメンバーが、計画及び準備段階から参画するとともに、当日は「地域の自然」サークルメンバーの支援の元に、受付から作業指導までその中心スタッフとして活動しました。

これら、様々な形で行われた“クズ掃き”で活躍された会員の皆様、本当にご苦労様でした。

また、これらの活動が、他団体、行政、農家などとの連携を深めるとともに、倶楽部としての活動の拡充・発展に寄与することが期待されます。(高橋 記)



“三富・千人落ち葉掃き大会”の開会式



落ち葉掃き



落ち葉掃きは、世代間交流の場



“三富・千人落ち葉掃き大会”の指導担当の倶楽部メンバー



倶楽部の女性メンバーによる豚汁の配食

【公園を楽しむ会】

谷中七福神巡り

薄井 文子

1月6日(木)今年一年の幸せを祈って、谷中七福神巡りに行ってきました。総勢18名。田端駅で電車を降り、まず福祿寿の東覚寺へ。次に恵比寿神の青雲寺。そして花見寺として四季折々の花が楽しめる修性院へ、その布袋尊の大きなお腹とふくよかなお顔にすっかり癒された気分になりました。谷中銀座に着き一時解散。それぞれ気に入った店で昼食。メンチカツを食べた人、うどん屋に入る人、コーヒー店で思いがけなく特別おいしいコーヒー付きの大根カレーランチが食べられたと感激する人などなど。谷中銀座はどの店も値段が安い。え、昭和時代にタイムスリップしたような懐かしさ漂う商店街でした。



また、商店街入口近くに、100年3代にわたって竹工芸の伝統を受け継ぐという竹工芸の専門店があり、みなさんお土産選びに余念がありませんでした。

また、商店街入口近くに、100年3代にわたって竹工芸の伝統を受け継ぐという竹工芸の専門店があり、みなさんお土産選びに余念がありませんでした。

ここから寿老人の長安寺、次いで谷中の墓地に隣接している毘沙門天の天王寺へ。墓地の中を歩くうちに、長谷川一夫のお墓を見つけ、しばし一世を風靡したあの名優を偲び、次いで徳川慶喜の墓を訪れ、彼のお墓が何故徳川家の菩提寺ではなく谷中にあるのか、という某参加者の蘊蓄(うんちく)を伺い納得しました。

そこから大黒天の護国院への途次、「下町風俗資料館 付属展示場」となっている「旧吉田屋酒店」を見学。空瓶持参で酒や醤油を量り売りで買ったことなど、生活がエコだった昭和の美風をみんなで懐かしみました。

上野動物園の下を抜けて、不忍池弁天堂に行く途中右側にある水月ホテルの入口に「鷗外荘」とあるのを見付け訪れてみたところ、中庭には明治の文豪森鴎外が住んでいたという住宅が保存されていました。

そして最後の弁財天に到着。今年の金運、健康、幸福などを祈りました。

七福神のご開帳は元旦から10日までとのことで、どのお寺も大勢の参拝客で賑わっていました。天候に恵まれ、気持ち良く巡拝できた一日でした。



新サークル紹介

【音楽連・市民大学派】

代表 若山 昭

我々の周囲には音楽が満ちています。テレビやラジオから音楽が流れ、街を歩いても音楽が耳に入ります。近頃、ほとんどの曲がドラムやギターを中心にした日本語らしからぬ発音の西洋音楽です。しかし、お風呂に肩まで浸かってホッとしたとき、自然と鼻歌が出てきますが、そんな時に西洋音楽、たとえばクラシックのメロディーを歌いますか？ マイケル・ジャクソン？ まさか！ おそらく日本人なら童謡・唱歌・演歌といった、伝統的な日本語のメロディーが口をつくのではないのでしょうか。

歌は心を癒します。伝統音楽研究家の小島美子さんによれば、嬉しいにつけ、悲しいにつけ、日本人は歌ったそうですし、日本の伝統音楽は「歌垣」にも関連しているそうです。ならば、我々の歌の源流を訪ねてみたくなませんか。その過程で思わず、「懐かしいなア！」とため息がでるような歌に出会えるかもしれ

ません。お父さんが仕事をしながら歌っていた歌。お母さんが台所で口ずさんでいた歌。はたまた、あなたが好きだった60年代、70年代のあの歌に出会えるかも……。もし、歌いたい歌がないとお嘆きのあなたには、いっそ作ってしまったらとお勧めします。

歌詞には俳句や短歌と違って、字数の制限はないし、形式も自由ですから想いの丈を表現できます。「所沢」を読み込んで、ご当地ソングといきませんか。みんな歌えば尚楽し。



サークル活動計画

ダースの会 [斉藤昌宏 2998-0406]

- 2月16日(水) 課外活動・宝登山躰梅、梅花見ハイク
 3月2日(水) 定例会・DVD歌舞伎「助六」鑑賞
 3月10日他・国立劇場3月歌舞伎「絵本合法衛」鑑賞
 3月23日(水) 課外活動・都電荒川線沿線花見散策

アジア研究会 [小椋雄二 2921-7739]

- 2月23日(水) 13:30分～ 新所沢コミセン別館
 講談社国際部勤務、中国、台湾、韓国に詳しい阿久
 津勝氏講演「中華世界の食文化」。
 3月16日(水) 定例会 新所沢コミセン別館予定。

傍聴席 [高垣輝雄 2926-7164]

- 2月14日(月) 23年度総会を開催 15時～
 場所 新所沢コミュニティーセンター別館
 3月12日(土) 広瀬先生の講演会『郊外都市(所沢)
 は生き残れるか』

楽悠クラブ [甲田和巳 事前連絡は不要]

- ★3月14日(月) 13:15～
 中央公民館8・9号会議室
 ・「タンホイザー」DVD鑑賞

地球環境に学ぶ [塚本二郎 2942-3117]

- 2月15日(火) 15時～ 新所沢コミセン別館5号
 定例会・5月行事の実施計画の策定
 ・揚水発電、ごみ問題他勉強会
 3月15日(火) 15時～ 定例会の予定

地域の自然を考える会 [海老沢 2922-0259]

- 2月28日(月) 15時～新所沢公民館
 定例会・23年の全体スケジュール検討
 ・3月予定決定
 2月の定例会の日程が変更ですのでご注意ください。

公園を楽しむ会 [加曾利 2939-2308]

- 2月24日(木) 定例会：13時30分～ 生涯学習推
 進センター 今後の事業についての話し合い。
 3月10日(木) 水戸偕楽園 福祉バスによる旅行
 8時所沢駅東口発 (40席満席となりました。)
 3月24日(木) ガイド付きでの六義園散策ほか

所沢の自然と農業 [渡部 昇 2949-9432]

- 2月24日(木) 高川山(初狩)登山ハイキング
 3月8日(火) 定例会

地域の自然 [加茂恵三 2944-6554]

- 2月20日(日) WABOCヨシの刈払い作業応援10時～
 2月26日(土) 早大実験地植生調査他打ち合わせ
 3月12日(土) 新年度活動計画他打ち合わせ

歴史散策クラブ [大河原功 2943-2004]

- 2月26日(土) 全体会議又は役員会…未定
 3月25日(金) 旧町めぐり
 ※集合場所・時間＝中央公民館1Fロビー・12:50
 4月2日(土) 能面美術館見学/花見
 ※集合場所・時間＝航空公園駅(公園出口側)・10:00

ドラマティック・カンパニー [梅本 2926-8723]

- 「リチャード三世」の朗読を1月で終了。
 次のテキストは2月定例会で決定。
 2月19日(土) 時間：10:00～12:00
 場所：新所沢コミセン別館

葵の会 [池田新八郎 2940-0711]

- 3月10日(木) 定例会 13時30分～16時
 場所：新所沢コミセン別館4号学習室(変更あり)
 内容：源氏物語講座第4回を予定

野老澤の歴史をたのしむ会 [嶋崎 2948-7331]

埋蔵文化財センター見学と砂川遺跡等の散策

- 2月17日(木) 雨天決行・弁当持参
 集合場所：埋蔵物文化財調査センター
 現地集合は10時半・小手指南口10時(徒歩)

北欧の会 [樋口俊夫 090-6483-7993]

- 2月26日(土) 第20回例会 13時20分
 場所：新所沢東公民館 DVD鑑賞 北欧を楽しむ
 3月26日(土) 第21回例会 場所：新所沢コミセン
 別館 スウェーデンから学ぶ 第2回

音楽連・市民大学派 [若山 昭 2922-1494]

- 2月21日(中央公民館 13:00～15:00) 例会
 3月7日(中央公民館 13:00～15:00) 例会
 ・コーラスは当分の間、加藤まさを作詞、佐々木すぐ
 る作曲「月の砂漠」。

《とこフォーラム》

アクションに結びつく調査・分析を!

倶楽部の運営に問題はないか?

14期 島川 謙二

なぜ倶楽部退会者が32名と大きく増えたのか。なぜ17期生に2割もの脱落者が出たのか。なぜ退会サークルが発生したのか。なぜ新卒者の入会率が低下したのか等々、調査分析する必要があります。(_ _)

退会した32名の退会理由は何か。退会者のうち30%以上はサークルに入っていない会員であり、4期以降サークル主導を進める『ところざわ倶楽部』としては、ますます会員の退会が増えるかも知れません。またパソコンで『ところざわ倶楽部』のブログにアクセスして各サークルの状況を読んで思うことは、パソコンを

やってない会員との『大きな情報格差』ということですよ。そんな『格差』は問題ではないといえますか。

ところざわ倶楽部の原点は『人間』であり、『人間の集まり』だと思います。だから面白いし、だから面倒なのです。(^) (> _ <) 会員に対するキメ細かな対応が必要ではないでしょうか。

倶楽部が抱える様々な問題については、調査・分析して次のアクションにつなげることが重要だと思います。アクションに結びつかない調査や議論をしても無意味です。

この『とこフォーラム』は、会員の自由な意見交換の場です。会員の皆さんはどうお考えでしょうか?

編集後記

☆ 新編集部を組んで3号目を発刊、紙面を大幅に変えましたが如何でしょうか?今年より広報担当理事5人の他に、4人の方に編集委員をお願いし、9人で「編集委員会」を開催しています。新編集委員のメンバーと担当をご紹介します。池田新八郎(部長 企画進行、メール配信)・高橋勉彦(担当理事 パソコン編集)・甲田和巳(担当理事 ホームページ)・後藤律子(担当理事 印刷発送)・樋口俊夫(担当理事) 編集委員/島川謙二(企画)・藤澤豊彦(写真)・新井光子(イラスト)・渡辺誠(理事 庶務)。そして加曾利会長にも出席をお願いしています。今後とも、ご協力よろしく願いいたします。

☆ 編集部の面々を紹介します。
デジタル音痴の池田は皆さんのお世話になるばかり、メール配信が届いているか気をもんでいます。
高橋さんは進行がどん詰まりになってもきちっと大変なパソコン編集をこなして下さり、後藤さんは印刷、郵送に汗を流して頂いています。そして重鎮の甲田さんは「ところざわ倶楽部ホームページ」を立ち上げ、軌道に乗せるべく奮闘されています。編集委員の島川さんは倶楽部のあり方を検討、幅広い視点から問題提起、藤沢さんは毎号の写真で活躍、新井さんは今後イラストで紙面を飾って頂きます。理事の渡辺さんには編集部の手助けをお願いしています。

☆ 皆さんの声を反映させたく、エッセイ、作品、「とこフォーラム」への意見など募集しています。題材は自由ですので積極的にご応募お願い致します。
[宛先] 池田新八郎 (ikeda519@tbg.t-com.ne.jp、Tel 2940-0711)、又は各サークル理事、編集委員の方にお渡しいただいても結構です。

むさし野俳句会(二十三年一月) 作品抄

蒸し上げて味噌豆甘き冬の雨
合評の喧々譁々初句会
初旅は隠れ里てふ湯西川
濛々と土間に湯気上げ餅を揚ぐ
三代の笑顔はじける福寿草
樫(ゆずりは)や母と娘とくりやこと
起重機の飾り外して初仕事
安寧を光に託す去年今年
冬晴れやさても秩父嶺黒々と
クレソンの根元探りて番(つが)い鴨
初場所にかける力士の気魄かな

鈴木 征子
岡本 博
奥富 京子
粕谷 昇
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
高梨 千代
高橋 三郎

凍りたる池の光つてをりにけり
天心の昂に年の明けにけり
胸張つて家を出る子や寒稽古
七草を掲げて百寿の母見舞ふ
老桜蕾膨らめ春を待つ
着ふくれて急く一日でもなかりけり
冬茜スカイツリーがくつきりと
梟やお伽ばなしはまたあした
竹盃のどんと酒酌むをんなかな
一羽来て二羽来て遊ぶ氷面(ひも)鏡

高光 泉
田中 溢子
中村 直子
平栗 彰子
前岳 良子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
岡本詔一郎